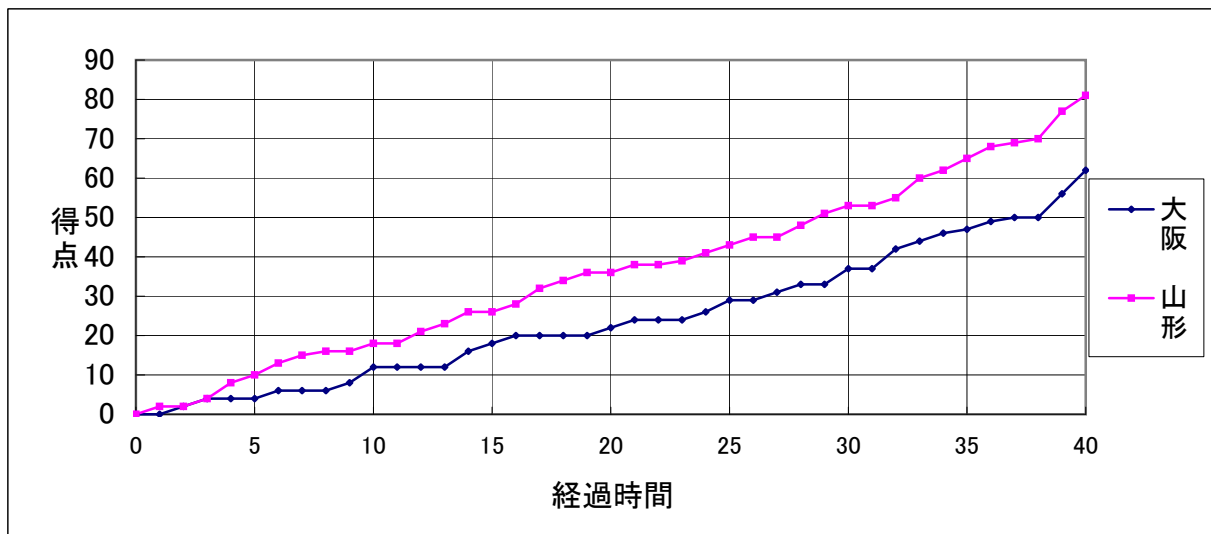


大会名	チャレンジ！おおいた国体 第63回国民体育大会 バスケットボール競技会	E1	10:00	成年男子3回戦														
		大阪 62 ●	<table border="1"> <tr><td>12</td><td>—</td><td>18</td></tr> <tr><td>10</td><td>—</td><td>18</td></tr> <tr><td>15</td><td>—</td><td>17</td></tr> <tr><td>25</td><td>—</td><td>28</td></tr> <tr><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr> </table>	12	—	18	10	—	18	15	—	17	25	—	28	—	—	—
12	—	18																
10	—	18																
15	—	17																
25	—	28																
—	—	—																
期日	2008年（平成20年）9月30日（火）																	
会場	大分鶴崎高校多目的競技場																	

主審 加藤 秀典

副審 岩尾 圭治



## 大阪

No.	氏名	点	3P	2P	FT	F
4	中島 英文	2	0	1	0	0
○ 5	鳥 和成	2	0	1	0	4
6	成川 耕平	10	0	4	2	5
○ 7	荒川 裕介	6	0	2	2	2
8	守屋 卓哉	6	1	1	1	3
○ 9	遠藤 遼	8	1	1	3	3
10	西勝 光希	5	0	2	1	1
○ 11	立石 和也	5	1	1	0	2
12	熊谷 弘基	2	0	1	0	1
○ 13	根来 新之助	10	0	5	0	5
14	竹内 勇貴	6	2	0	0	1
15						
16						
17						
18						
コーチ	高橋 渉	/	/	/	/	/
合計		62	5	19	9	

## 山形

No.	氏名	点	3P	2P	FT	F
○ 4	笹原 慎也	4	0	2	0	3
○ 5	伊藤 和哉	22	0	6	10	2
○ 6	橋本 伸広	17	1	6	2	3
7	小野 学	2	0	1	0	0
◎ 8	中村 裕紀	16	4	2	0	4
9	小野 賢一郎	4	0	1	2	0
10	阿部 一貴	12	3	0	3	3
11	岡崎 克幸	0	0	0	0	0
12	五十嵐 裕也	2	0	0	2	0
13	田苗 伸哉	2	0	0	2	0
○ 14	斎藤 剛	0	0	0	0	1
15						
16						
17						
18						
コーチ	山本 健一	/	/	/	/	/
合計		81	8	18	21	

○はスターター(◎はキャプテン) 3P…3点シュート 2P…2点シュート FT…フリースロー F…ファウル

## 戦評

ベスト8を賭けた3回戦第1試合目、高さを活かした両チームの対戦。大阪は開始3分半でチームファールが5個となる苦しい展開。山形はインサイドでのポジション争いでファールをもらいFTを確実に決め3Pも絡めながら徐々に点差を開いていくが大阪は終盤、#7の連続得点、#6のジャンプショットで反撃し、大阪12-18山形で10を終了。続く2Q、インサイド主体にリズムよく攻める山形は確実に点をかさねていく。一方の大阪も#6、#7のドライブで得点するが山形のディフェンスに苦しみ、大阪22-36山形で折り返す。3Q、大阪はリバウンドを取り、オフェンスは増えるもののシュートが決まらず点差が縮まらない。対する山形は落ち着いたゲーム運びで優位に進めていく。大阪は残り1分30秒、オールコートマンツーマンを仕掛け反撃にできるが決め手に欠き大阪37-53山形で3Q終了。4Q、大阪はタイトなマンツーマンディフェンスから相手のミスを誘い反撃し得点するものの山形#5、#6インサイドプレーに苦しみ点差は縮まらない。残り5分過ぎ、山形は#8、#10の連続3Pで突き放しにかかる。大阪は終盤2-2-1のプレスからボールを奪い3Pで追い上げを試みるが及ばず試合終了。終始インサイドを支配した山形が81-62で準々決勝へ駒を進めた。

記載者	池田 純業 (所属) 大分県バスケットボール協会
-----	--------------------------